

# 随筆・その他

## 春の園遊会に出席して

香川大学医師会

原 量 宏

平成二十九年四月二十日、天皇、皇后両陛下の主催により赤坂御苑で開催された春の園遊会に家内とともに招待され出席して参りましたので、その経緯についてご報告いたします。

昨年九月初旬に、総務省から直々に連絡があり、この度秋の園遊会に医療分野における情報通信技術の利活用推進（「研究開発用ギガビットネットワーク（JGN）」「K-MIX」とG7香川・高松情報通信大臣会合の開催に多大な貢献をしたことなどから、平成二十八年十一月一日に赤坂御苑で催される、秋の園遊会に招待されたとのことで、もちろん大変名誉なことであり、即座に出席いたしますとご返事いたしました。そして、十月十三日には、総務省四国総合通信局佐藤裁也局長が大学までおいでになり、宮内庁の山本信一郎長官からの園遊会へ招待の案内状をお持ちいただき、本当にあり

がたく感じました。これまで佐藤局長には、JGNの各種プロジェクトをはじめ、G7香川・高松情報通信大臣会合の開催においても、大変お世話になっております。なにしろ園遊会に招待されることは、全く予期もしていなかったもので、はじめはその重要性をあまり実感できなかったのですが、関係者のお話では、大学の教員が文部科学省からではなく、総務省の枠で選ばれることは、めったにないことの様で、徐々に身の引き締まる思いがしてきました。実際に香川県内からの招待者は、私を含め八人でしたが、行政関係の方が大部分でした。

家内に招待されたことを話すと、招待された理由よりも、まずは洋服にするか着物にするかといったことが話題になり、京都まで着物や帯、バック、履物を買いに、大変うれしそうにでかけていました。なお、服装に関しては、男子はモーニングコート、紋付袴、制服、背広、女子はデイドレス、または訪問着となっていました。

というわけで、準備万端ととのつていたわけですが、昨年十月二十七日の三笠宮様のご逝去により、秋の園遊会は突然中止となってしまったことは皆様ご存知の通りです。

多くの方々に、今回はとても残念でしたが、必ず春の園遊会に招待されますよと、なぐさめられたことを覚えています。

幸い、本年三月初旬に、再び総務省から四月二十日開催の春の園遊会に招待されたとの連絡があり、ようやくほっとした次第です。三月二十四日に、佐藤裁也局長から二通目の案内状をいただきましたが、案内状を二回ももらった人はめったにいないので、家宝としてくれぐれも大事にして下さいとのことでした。

宿泊先は、もともと私は鉄道ファンですし、めったにない機会なので東京ステーションホテルを予約し、前日から上京しました。東京ステーションホテルは素晴らしい雰囲気のホテルで、あたかも旧満洲国から朝鮮半島を通過し、はるばる帝都東京まで鉄道で上京した様な気分になりました。残念ながら満鉄の特急あじあ号ではなく、新幹線のぞみでしたが。

宮内庁から必ずハイヤーを使うようにとのお話しがあり、かなり前から国際ハイヤー(KM)を予約しました。赤坂御苑に車で入る際の自動車の標識(かなり目立つ)が前もって配布されており、運転手さんも、大変よい経験になると喜んでいました。



当日は暖かく大変天候に恵まれ、まさに園遊会日和でした。午後一時過ぎにハイヤーで赤坂御苑西口から入門し、受付をすますとバスが待っており、そこから御苑内の会場付近まで移動しました。赤坂御苑内は、都心とは思えないほど広く静かで、すばらしく手入れが行き届いており、桜の花が大変きれいに咲いています。

御苑内には、大きめの池が二つ、小さめの池が三つあり、(東側から、大池、中の池、しよぶ池、心字池、大土橋池)池の周囲をめぐる

形で散歩道が配置されていました。所々にテントがはられ喫茶所が設けられており、招待者は三々五々食べたり和やかに談笑していました。会場の中央付近(中の池の北側)では皇宮警察の楽隊が演奏しており、大変華やかな雰囲気醸し出されていました。午後二時過ぎに、天皇、皇后両陛下をはじめ皇族の方々が御苑にお出ましになり、御苑全体の雰囲気徐徐に高まってきました。

天皇、皇后両陛下が、オリンピック選手とお話する場面がよくTVで放映されますが、その付近は大変な人垣でした。

その後、天皇、皇后と皇族の皆様は、招待者の方々に話しかけながら、池の回遊道をゆつくりと進まれました。総務省の方から、天皇、皇后には、雅子様、紀子様のご懐妊の際に、遠隔での胎児モニタリングシステムを利用していた事をお伝えしてあるので、列の前でお待ちしていれば、お言葉をかけていただく可能性があるかと聞いていましたが、皆様が前列へ進まれるので、ついつい前に出るのは遠慮してしまいました。

間近でみる天皇、皇后は大変お元気そうで、退位されるとはとも思えないほどでした。残念ながら雅子様はすぐに退場されたとのこと、一人で歩きになる皇太子殿下がお気の毒な感じでした。その後、秋篠宮ご夫妻に続き、各皇族の方々が次々進まれ、三時半過ぎに園遊会はお開きとなりました。帰りには、皇室御用

達の和菓子「菊焼残月」(菊のご紋章入り)の折箱をお土産にいただきました。

大変広い駐車場に待っていたハイヤーに乗り、南門から青山通りに出て東京ステーションホテルにもどりましたが、大変静かな御苑内から一気に現実の世界にもどった感じでした。翌日、私は早くホテルを出たのですが、家内がチェックアウトする際には、総支配人がわざわざ待っていて、園遊会はいかがでしたかと聞かれたとのことで、これも大変良い思い出になりました。

(予約等はすべて家内の名前でしたので、家内が聞かれたようです。)

さて気になる「菊焼残月」ですが、どら焼を半分にした形(半月形)に菊の紋があしらわれており、見た目にも大変おいしそうで、中の餡の甘さも適度で大変おいしかったです。

春の園遊会に関して書いてみましたが、我々夫婦二人にとって、一生の思い出になる体験でした。